

「わたしの夢」ワークショップ & 国際井戸端会議

地域で考えよう 子どもたちの未来



Foto/Sam Lozoff

O que você quer ser no futuro? Jogador de futebol? Cantor? Professor? Cabeleireiro? Enfermeiro? Engenheiro mecânico? Quantas profissões mais há no mundo? O que nós estudantes devemos fazer para realizarmos esses sonhos?

Luis Shichinoe veio ao Japão aos 9 anos de idade sem saber uma palavra em japonês. Não teve uma vida escolar fácil. Mas, hoje ele conta que foi melhor não ter desistido dos estudos apesar das dificuldades. Ele terminou seus estudos do ensino médio na escola japonesa e atualmente trabalha na NTT (empresa telefônica) de Oumi Hachiman. Que tal ouvir a história de Luis e pensarmos sobre o nosso futuro?

Aos pais e responsáveis: esta será uma boa oportunidade para perguntar sobre a continuidade ou não dos estudos e sobre a profissão dos filhos.

将来の夢はなんですか。サッカー選手、歌手、学校の先生？ 美容師さんに車の修理工、看護師さん？他にどんな仕事があるのかな。将来の夢を叶えるには、小学生、中学生の今、何をしたらいいんだろう？

日本の高校を卒業し、現在、近江八幡のNTTに勤めるセブ/江ノイスくん。フラジルから来たばかりの9歳の頃は言葉が分からず、学校は大変でした。でも諦めずに勉強を続けて良かったな、と今は思っています。みんなでノイスくんの話を聞き、自分の将来について一緒に考えてみよう！お父さんやお母さんも、子どもの進学や就職について疑問や心配事があれば、ぜひ相談してください。

日時: 2013年1月26日(土) 13:00-16:00

場所: 東近江市・太子ホール(裏面の地図参照)

13-14:00 ノイスくんのお話、DVD

14:00-14:40 「わたしの夢」ワークショップ
(進行と通訳: 平田エジナさん・彦根市交流員)

14:40-15:10 まどめ

15:15-16:00 交流会
(フラジルの音楽とお菓子)

参加費無料 / 申込み不要

問い合わせ先: 東近江国際交流協会(東近江市役所企画課内)

Tel. 0748-24-5610 0505-801-5610

Data: 26 de janeiro de 2013

Horário: 13:00 às 16:00

Local: Higashi oumi-shi Taishi hall (Mapa no verso da folha)

Programação:

13:00-14:00 Palestra do Luis Shichinoe, apresentação de DVD

14:00-14:40 Workshop: Meu sonho (coordenação e intérprete: Edna Hirata, CIR de Hikone)

14:40-15:10 Conclusão final

15:15-16:00 Intercâmbio (com comidas e músicas brasileiras)

Inscrição: não será necessário

A entrada será franca

Tel.: Associação Internacional de Higashi Oumi

0748-24-5610 0505-801-5610

Realização: Associação Internacional de Higashi Oumi, Oumi Samba percussão workshop

主催: 東近江国際交流協会 おうみサンバ・パーカッション・ワークショップ

「わたしの夢」ワークショップ&国際井戸端会議 地域で考えよう、子どもの未来

東近江市には外国籍の子どもたちがたくさん住んでいますが、言葉の壁や教育文化の違い、厳しい社会状況により、中学卒業後の進路が定まらず、仕事や毎日の暮らしに不安を抱えるケースが増えています。今回、東近江国際交流協会とおうみサンバ・パーカッション・ワークショップは、子どもたちが自分で将来の夢を描き、それを実現していくための第一歩として、ブラジル籍の親子を対象とした将来設計のためのワークショップと、そんな子どもたちを支える／支えたいと願う日本人を対象とした「井戸端会議」を企画しました。

第一部では、来日16年で東近江市在住、現在、近江八幡のNTTに勤めるセノ江ルイスくんをゲストに迎え、来日後の経験談と子どもたちへの願い、これからの日本社会に期待することを話していただきます。

第二部では、外国籍児童の就学問題が専門の愛知淑徳大学准教授・小島祥美さんに愛知・岐阜・三重など先進地域での取り組みをご紹介いただきながら、支援者としての悩みや質問など、参加者がざっくばらんに話し合える場をもちたいと思います。同時進行で、彦根市国際交流員・平田エジナさんを進行役に迎え、子どもたち自身が将来の夢について考えるワークショップを行います。

第三部では、ブラジル音楽の演奏とブラジルのお菓子を楽しみながら、交流会を開きます。寒い冬の週末、南国ブラジルの文化に触れ、子どもたちの明るい未来を思い描きながら、温かなひと時を過ごしましょう！

日時:2013年1月26日(土) 13:00-16:00

場所:東近江市・太子ホール(東近江市八日市町12-12)

13-14:00 ルイスくんのお話、DVD

14:00-14:40 国際井戸端会議

(お話と進行:小島祥美さん)

14:40-15:10 まとめ

15:15-16:00 交流会

(ブラジルの音楽とお菓子)

参加費無料/申込み不要

問い合わせ先:東近江国際交流協会(東近江市役所企画課内)

Tel. 0748-24-5610 0505-801-5610



セノ江 ルイスくん

9歳のとき、家族でブラジルから来日。八日市の小・中学校に通い、八日市南高校を卒業。安土の通訳士を経て、現在、近江八幡のNTTに勤務。趣味は歌うこと。いつかステージに立つのが夢！

小島祥美さん

元小学校教員。阪神淡路大震災後の外国人支援活動の中で不就学の子どもと出会い、現状を変えたいと決意。岐阜県可児市にて全国初の外国人就学調査を実施。可児市教育委員会の初代外国人児童生徒コーディネーターを経て、06年より愛知淑徳大学。ラテン系の江戸っ子です。

平田 エジナさん

ブラジルの教員資格をもち、日本語学校教員を経て、09年より彦根市国際交流員。ただ今、日本語の「朗読」を特訓中です！

岸本正直さん

ブラジル音楽大好き！なお医者さん。関西を中心にカバキニョ(弦楽器)奏者として活躍中。おうみサンバ・パーカッション・ワークショップではアゴゴやガンザなど打楽器の指導も。

